

令和2年度公共施設等検討委員会書面協議委員意見回答（関連項目別）

参考資料 1

項目	委員意見	回答
個別施設計画 金額積算結果関連	資料6ページで、個別施設計画策定結果と中期財政見込みとの費用比較では、今後毎年5億円不足することだが、対応は。	<p>個別施設計画策定結果と財政の見通しを予測した中期財政見通しの直近5年間での比較では、毎年平均約5億円不足が生じる結果となっております。</p> <p>この不足額については、個別施設計画に記載の修繕内で緊急性のある修繕、先送りできそうな修繕等検討を行い、緊急性の高い修繕を優先して行う見込みをしております。</p> <p>実際、直近5年間においても財源不足がおこっている状況であることから、公共施設等の整理・合理化を推し進める必要があります。</p>

項目	委員意見	回答
施設管理方針関連 (施設全体)	近隣市町や県との共同化を検討すべき。	今年度改定を行っている、「羽島市公共施設等総合管理計画」内の公共施設等マネジメントの基本方針の中で、市域を超えた利用が想定される施設については、「他自治体との連携・分担による広域利用を検討していきます」とし、方針に追加をする改定を予定しております。
	税収の見込みが悪いこと等わかっているのに、このような計画では甘いのではないか。	<p>現在の財政状況を鑑みると、現在ある施設をすべて更新することは困難である状況ではありませんが、他方で公共施設等の廃止については、必要機能を廃止することで市民サービスの低下を招く恐れがあり、あり方検討については、市民のニーズの把握や利用状況等を踏まえ、慎重に検討を行う必要があると考えております。</p> <p>施設類型ごとの方針については管理に関する基本的方針にて示させていただいておりますが、財政状況や施設状況を踏まえ、順次管理方針の見直しを行っていきます。</p>
	学校や病院等、絶対にやめられないものとやめざるをえないものを分けて議論する必要がある。	ご意見を参考に、今後の議論を検討していきます。

項目	施設名	委員意見	回答
施設管理方針関連 (個別施設)	コミュニティ施設	住民の交流等一定の必要性はあるが、利用しているのが近隣の住民に限られるのであれば恩恵を受ける住民が費用負担する方式に変えていくべき。	受益者負担の適正化につきましては、令和3年4月より使用料・利用料の減免措置の見直しを行います。この見直しにより、各施設の利用状況が変化することが見込まれることから、利用状況の変化を見たのちに施設使用料・利用料についても適正な形に見直しを行う予定をしております。
	コミュニティ施設	コミュニティ施設については、老朽化による不具合の増加と、民間事業者等により市民の選択肢が増えたことから利用者は減少しており、すべての施設を修繕等することは検討が必要と思う。近い将来に中学校区に1つ程度に集約するのはどうか。	ご指摘いただいているとおり、市内コミュニティセンターについては多くの施設で老朽化が進み、不具合等も増加している状況にあります。他方で地域と密着した、市民の方の地域づくりの場となっていること等もあり、あり方の検討につきましては、慎重に行う必要があると認識しております。 現在、コミュニティ施設として市内に13施設あり、あり方についても方法が多くあると考えております。いただいた意見につきましても貴重な意見の一つとして今後の検討をさせていただきます。
	市民会館	建物が古く、立地もいため、将来的には別の用途での活用を検討すべき。	市民会館については建築後50年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況です。あり方の検討については、現在の機能（貸会議室等）の必要性を検討したのち、別の用途での活用等も含め検討する予定をしております。
	市民会館	2階ホールの体育施設としての利用は床材などから不適当と思う。	ご指摘いただいているとおり、激しい運動を行うには不適当となっております。
	柔剣道道場	柔剣道道場は、高齢者の体操等幅広く利用されている。市内に代替えとなる他施設も十分でないと思われること、耐震化していることから修繕等含め今後も使用することを希望	柔剣道道場については、建築年や老朽化の状況もありますが、近年竹鼻中学校の武道場の新設により、平日昼間以外については各中学校武道場等、代替えとなり得る施設ができたこと等、状況の変化も見込まれることから、指定管理の更新のタイミングと合わせて、検討を行うこととしております。いただいたご意見につきましては貴重な意見の一つとさせていただきます。
	福祉施設	市民意識調査で関心が高い施設なので、違和感はあったが、施設の老朽化や代替サービスの提供が可能ということで納得をした。	福祉施設においては、市民意識調査の結果、機能としては力を入れるべきという意見が多いことから、残すべき機能については、本委員会内で委員の皆様にもおはかりをし、機能の代替性や他施設への機能移転を行い住民サービスの低下に繋がらない形でのあり方検討を進める予定をしております。
羽島温泉	方針で「廃止」とあるが住民アンケートと合致していないのではないか。	老人福祉センター羽島温泉については、建築後50年以上が経過し、温泉設備に関しても耐用年数を経過し老朽化が目立つ状況となっております。 羽島温泉につきましては、既に廃止が決定しているということではなく、あり方検討の際の選択肢の一つとして記載をしているところです。あり方検討にあたっては、現在検討を進めている老人福祉センター等と同様に、広く市民の方の意見を聞いたうえで進める予定をしております。	

項目	委員意見	回答
市民アンケート関連	無作為サンプリングも1つの考え方と思うが、年齢依存施設については年齢構成も考えたサンプリングが必要ではないか。	今回の市民意識調査については、無作為抽出としており、年齢構成については抽出の際に偏りが出ないように年齢階層ごとに抽出数を決めたとえでの調査となっております。
	アンケートの数が少なすぎると思う。	アンケートの対象者数については、統計上、羽島市の人口規模では400人程度回答があれば適切なデータが得られるとなっており、今回のアンケートについては回答数が897人で問題ない結果となっております。

項目	委員意見	回答
受益者負担関連	受益者負担を適正化した後、利用者が少ない施設については廃止を検討していくべき。	施設のあり方検討を行う際には、施設の利用状況等も勘案しながら検討を行います。
	減免については、減額分を税金で補填しているので見直すべき、民間で同様のサービスがある施設については特に厳しくしてもいいと思う。	減免については、令和3年4月から見直しを行う予定をしております。 また、使用料金の見直しに当たっては市場性や必要性を検討し民間等で同様のサービスがあり市場的な施設については公費負担の割合を検討しながら見直しを行います。